



# 学校だより1月号

【学校教育目標】「力を合わせ 笑顔が光る日限の子」

令和4年1月7日  
横浜市立日限山小学校  
〒233-0015

港南区日限山二丁目16番1  
TEL 045(841)6561

## 新春を迎えて

～節目を大切に～

校長 岡崎 陽子

三が日の横浜は、明るい日差しに恵まれ、穏やかな2022年の幕開けとなりました。感染症の影響を常を感じながら学校生活を送ってきたこれまでの日々を振り返ると、新しい年がこの天気のように、明るく穏やかな年であってほしいと願う気持ちを一層強くした次第です。

今年も、保護者・地域の皆様のご協力とご支援を賜りながら、一人ひとりの子どもたちが、安心して学び、自分のよさを発揮できるような学校をつくることを目指して、教職員一同、全力で取り組んでまいります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

年末年始の過ごし方は、ご家庭ごとに毎年何となく決まっていることが多いのではないのでしょうか。最近の大晦日は、我が家では決まったテレビを見ながら年越し蕎麦を食べ、日付が替わる直前に家の外へ出て、遠くから聞こえる船の汽笛に耳を澄ますのが恒例となっています。新年を迎えた瞬間に横浜港に停泊している船が一斉に汽笛を鳴らすこのイベントは「除夜の汽笛」と言われていて、明治時代から続いているそうです。「残したい“日本の音風景100選”」（環境省）にも選ばれています。寒空の下で身を引き締め、世界の海とつながる港から響き渡る汽笛を遠く聞きながら、新しい年の始まりに向けて気持ちの切り替えをしています。

大晦日は1年の節目です。日々忙しく過ぎていく日常の中で、節目というのは意識したい瞬間です。大晦日には1年間を振り返り、新しい年を迎える上での大まかな見通しをもちたいものです。竹は節目があるからこそ伸びるといふ話を聞いたことがあります。人が生きていく上でも節目を設け、これまでの自分を振り返って、自分の成長につなげることが大切だと思います。

学校では、学習の振り返りを大切にしています。自分がこの授業で学んだことは何か。この単元を通して分かったことは何か。何ができるようになったのか。学習を通してどんな考え方を身に付けることができたのか。それはどのような方法で学習したからできるようになったのか。振り返りを通して自分を見つめ、自分をメタ認知する力（自分を客観視する力）を身に付けることができるような授業づくりに取り組んでいます。

元旦は1月1日の午前中を指す言葉だそうです。「1年の計は元旦にあり」という言葉は、年の初めに計画を立てることの大切さを表しています。学校では、学習の振り返りと共に大切にしているのが、目標をもつことです。子どもたち一人ひとりのもつ「こういう自分になりたい」「これができるようになりたい」「これが分かるようになりたい」という思いを大切に、教育活動をつくっていきたいと思います。

今年の元旦は、美しい初日の出が見られました。新春を迎え、子どもたちにとっての学校が、安全・安心で楽しい場所となるよう努めたいという思いを強くし、手を合わせました。